

令和6年度 COC活動の取り組み方針について

令和6年3月28日

日本文理大学

<COC活動の取り組み方針>

- ◆ COCの全体活動については、コロナ前と同等規模で実施（プロジェクト件数：約50件）。
- ◆ 個別の取り組みについては、各学科等で教育上の効果、地域との関係性・波及性、予算等を総合的に検討した上で実施する。ただし、検討の結果、縮小、見直し、中止の対応も柔軟に行う。県内での新規展開も推奨する。
- ◆ 全体での地域報告会（佐賀関、豊後大野）、拠点等の運営、公開講座等については、地域の実情に応じて効果的な方法で実施する。個別の取り組みにおける報告会は積極的に行う。
- ◆ 事業達成目標（KPI）の令和6年度目標は、これまでの達成状況及び地域の受入体制、実施可能性の観点から令和5年度に設定した通り（令和5年度と同様）とする。
- ◆ 連携推進会議（担当課長レベル会議）、事業検討・評価委員会（部長レベル以上）については、平成30年度末の合意に基づき実施する。対面、オンラインのハイブリッドでの実施を予定する。
 - ⇒ 連携会議については、官学連携の率直な意見交換の場として、年1回7月頃に実施。前年度の成果報告と当該年度の計画に対する意見交換。
 - ⇒ 評価委員会については、外部の意見をくみ取ったカリキュラム改編を積極的に行う観点から年度末に実施。
- ◆ 「おおいた地域連携プラットフォーム」における取り組みについても、引き続き、COCのリーディング大学として積極的な関与を行う。
（「おおいた地域高等教育活性化中長期計画2023」に沿って推進）
- ◆ プラットフォームで実施する各種取り組み（フィールドワーク支援事業（旧 実践型地域活動事業）、自治体等の地域課題解決に向けた取り組み、リカレント教育事業、地域人材創出事業等）に積極的に応募、参画する。

以上